

平成三十一年度

## 推薦入試試験問題

(文学科 日本語日本文学専攻)

### 注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 2 白紙は、下書きとして使用してください。
- 3 受験票とこの問題用紙および白紙は持ち帰ってください。

課題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

省略

省略

(助川幸逸郎「空想」から「想像」へ——排外主義に抗<sup>あらが</sup>うために文学研究者ができること  
と」『リポート笠間』五五号、二〇一三年一月、笠間書院、58～61ページ)

注1 活計 …… 生活を維持するための手段。

注2 反ユダヤ主義 …… 19世紀後半から、ドイツなどヨーロッパ諸国に興ったユダヤ人差別運動。

注3 東西冷戦 …… 第二次大戦後の西側諸国と東側諸国の間に起こった、砲火は交えないが戦争を思わせるような敵しい対立抗争の状況。

注4 デイシプリン …… 訓練。修練。

問一 著者は、人が排外主義に走る理由をどのように認識し、文学研究者としてこの問題にどのような方法で関わることができると考えているか、二〇〇字以内でまとめなさい。

問二 文学が社会に対して果たす役割について、あなたはどのように考えますか。具体的な例を含めて六〇〇字以内で述べなさい。